

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	ダンスⅥ（バレエ）	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名	俳優コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	40時間
単位数	1単位					授業形態	実習
教科書/教材	特になし						
担当教員情報							
担当教員	佐藤一哉			実務経験の有無・職種	有・モダンダンサー		
学習目的							
この科目（実技＝レッスン）の学生は、プロフェッショナルを目指していることを前提とし、プロを育成すべく、レッスンを通し、それらに必要な多くのことを全員に理解してもらう。自分自身を知り、様々なことに挑戦できる人間になってくれることを目的とする。							
到達目標							
この科目（実技＝レッスン）はバレエ・創作ダンスを通じ、どのような状況（オーディション・ステージ・本番等）でも自分自身を表現できる強い身体、豊かな感性を持つ表現者になることを目的とする。また、業界の約束事（マナー）を理解し社会人としての人間性も培っていく。							
教育方法等							
授業概要	ソロ、デュエット、グループで踊りながら高度な技術を身につける。音楽性を豊かに肉体を通しコミュニケーションを持ちながら多くの人々に夢と感動を与える表現者になることを目指す。バレエレッスンと創作ダンスで構成する。						
注意点	実技ではあるが、時間の可能な限り学生とのコミュニケーションを大切に各個人の性格の適性を見極め、レベルアップを目指す。専門以外でも学生としての礼儀、態度に注意し対応する。ハードな実技のためケアを大切に怪我にも注意する。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	実技	60%	バレレッスンの理解度、音楽性				
	発表	30%	テーマに沿った表現力				
	課題	10%	授業の参加度、授業内における態度				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	バレエ			ベースに基づきながらレベルアップする			
2回	バレエ			回転、ジャンプ、バランス等、高度な技術にチャレンジする			
3回	バレエ			高度な技術を習得する			
4回	バレエ			ハイレベルな技術を使いながら美しく踊る			
5回	バレエ、ダンス③			バレエの後ダンスの振付			
6回	バレエ、ダンス③			バレエの後振付を完全に覚える			
7回	バレエ、ダンス③			バレエの後、少人数のグループ紹介、場当たり、リハーサル			
8回	バレエ、ダンス③			バレエの後、少人数のグループでのダンス発表			
9回	バレエ			バレエの技術と音楽を使ったエクササイズ			
10回	バレエ、創作ダンス			バレエの後、創作の説明をし実際に動いてみる			
11回	バレエ、創作ダンス			バレエの後、ダンスのテーマ、音楽を決めリハーサルを行う			
12回	バレエ、創作ダンス②			バレエの後、創作ダンスのリハーサル②			
13回	バレエ、創作ダンス②			バレエの後、創作ダンスを少人数のグループで発表			
14回	バレエ、ダンス④			バレエの後、短時間で新しいダンスの振りを覚える			
15回	バレエ、ダンス①～④、創作			バレエ、ダンスを通して自分の実力を確認しながら表現する			